

2021年度 全日本トラックレースシリーズ 第2戦  
境川7月ラウンド（記録会&ポイントレース&ケイリン&マディソン）

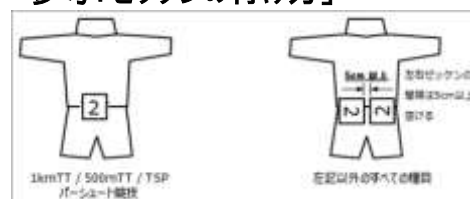
2021年7月8日

Communique NO4\_（競技系）

7月11日チーフコミッセル 岩間光輝

1. 7月11日のコミッセルパネルは、下記の通りとする。  
岩間光輝、大島環、近嵐智加良、古賀岳文
2. マディソンにおける注意事項について  
・マディソンのスプリント周回は、400mトラックにおいては5周回に1回となる。  
・マディソンでは一周回又は数周回ラップされた選手は、コミッセルにより除外される。
3. 男子ポイントレース、スクラッチ及びマディソンにおける専用ゼッケンについて  
大会受付時に配布するゼッケンとは別に、ポイントレース、スクラッチ及びマディソンでは、専用ゼッケンを使用する。予選、決勝の各レース開始前に配布するので、場内アナウンスに注意し、取りに来ること。各レース参加選手は、番号間違いが無いように当然に自分自身で確認の上、審判が視認できるように安全ピンでしっかり取り付けること。また、フレーム番号を配布するので、フレームトップチューブ中央にテープ等で取り付けること。（トランスポンダーは装着しないので、ゼッケン及びフレーム番号が選手判別において非常に重要となるため、十分に留意すること。）
4. バイクチェックについて  
コロナウイルス感染防止対策として、レース前のバイクチェックは行わず、セルフチェックとする。  
ただし入賞者を対象に、各レース終了後すぐにコミッセルが個別に検車を行う予定である。該当選手はアナウンス等に注意し、すみやかに検車場に集合すること
5. マディソンについて  
同じ学校で2チーム参加する場合は、**ジャージ及びヘルメットは色彩を違うもの**にすること。（当種目に限っては危険防止の観点から一方のチームに旧登録ジャージ等登録以外のジャージを可とする。）
6. バンチレースについて  
事故等に備えたチーム員は、必要な機材をあらかじめウオームアップエリアの走路入り口付近に座って準備・待機すること。ただし事故の際にインフィールドに入る際は、コミッセルの許可を受け、その指示に従うこと。
7. バンチレースにおけるニュートラリゼーションについて  
ニュートラリゼーション適用の際の周回数、3周以内とする。

「参考：ゼッケンの付け方」



以上